

様式第 2 号(第 7 条関係)

会議の開催結果

|                 |                                                                                                                                                                 |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 会議の名称         | さいたま市総合振興計画審議会第 1 部会（第 1 回）                                                                                                                                     |
| 2 会議の開催日時       | 平成 2 5 年 5 月 7 日（火）<br>1 3 時 3 0 分から 1 5 時 4 5 分まで                                                                                                              |
| 3 会議の開催場所       | 市役所第二別館 第 3 会議室                                                                                                                                                 |
| 4 出席者名          | 審議会委員：秋元智子委員、石關精三委員、猪瀬良一委員、上田彰一郎委員、久野美和子委員、作山康委員、中邨登美枝委員、丸山繁子委員、茂木泰和委員、森本章倫委員、吉田貴昭委員<br>事務局：江口明男、松井雅之、小島豪彦、松尾真介、富田昌洋、猪狩文康、南友和、鈴木慶一                              |
| 5 議題及び公開又は非公開の別 | 議題<br>・部会の進め方等について<br>・都市構造について<br>・都市基盤・交通の分野におけるこれまでの取組と課題等について<br>・環境・アメニティの分野におけるこれまでの取組と課題等について<br>・産業・経済の分野におけるこれまでの取組と課題等について<br>・その他<br>公開又は非公開の別<br>公開 |
| 6 非公開の理由        | —                                                                                                                                                               |
| 7 傍聴者の数         | 1 人                                                                                                                                                             |
| 8 審議した内容        | 別紙、議事概要のとおり                                                                                                                                                     |
| 9 問合せ先          | 政策局政策企画部企画調整課<br>電話番号 0 4 8－8 2 9－1 0 3 5                                                                                                                       |
| 10 その他          |                                                                                                                                                                 |

## さいたま市総合振興計画審議会第1部会（第1回）議事概要

部会委員の紹介の後、部会長が選出されました。

○部会長 作山 康 芝浦工業大学システム理工学部教授

次に、作山部会長より副部会長の指名が行われました。

○副部会長 久野 美和子 埼玉大学研究機構オープンイノベーションセンター特命教授

## 議題（1）部会の進め方等について

次について、資料1に基づき事務局から説明した後、審議が行われ、事務局案のとおり承認されました。

○部会が担当する分野

○部会の審議スケジュール

## 議題（2）都市構造について

次について、資料2-1に基づき事務局から説明を行いました。

○将来都市構造の方向性

○将来都市構造を構成する要素

○土地利用の基本方針

## 【主な意見】

- ・荒川、元荒川、見沼田圃などの緑に囲まれている市街地というのは、さいたま市の特徴である。
- ・現行の基本計画における「多核連携型」の将来都市構造に、「集約」ということを全面的に押し出すという意味で、「多核連携・集約型」としたことは重要な視点である。
- ・東西都市軸が弱く不便であり、車の二酸化炭素排出量が多いため、公共交通への利用転換を図り、低炭素なまちをつくるとともに、東西の流れをつくることが重要である。また、高齢化が進む中で、モビリティの問題を考える必要がある。

## 議題（3）都市基盤・交通の分野におけるこれまでの取組と課題等について

次について、資料3-1に基づき事務局から説明した後、意見交換を行いました。

○基本構想における記述

○現行基本計画に基づく主な取組

○都市基盤・交通分野の主な課題

○施策展開（案）

## 【主な意見】

- ・都市計画道路の整備率は全ての政令指定都市の中で一番低く、公園も少ない。
- ・ICT（情報通信技術）を交通など様々な分野とリンクさせるという視点を持つてほしい。

- ・郊外に多くの大型店舗が進出している中で、人が来ている大宮や浦和以外の駅周辺地域にいかにか人を集めるか、いかに地元の商店街の活性化するかが課題である。
- ・交通ネットワークと土地利用の話は、車で言えば両輪である。土地利用の規制・誘導によって都市機能の集約化を図ることと、自動車を抑制して公共交通等への利用転換を図ることの２つの両輪の考え方を意識した文書づくりが大切だ。

#### 議題（４）環境・アメニティの分野におけるこれまでの取組と課題等について

次について、資料３－２に基づき事務局から説明した後、意見交換を行いました。

○基本構想における記述

○現行基本計画に基づく主な取組

○環境・アメニティの分野の主な課題

○施策展開（案）

#### 【主な意見】

- ・気温の高さは、ヒートアイランドが影響しているので、クールスポット（涼しい場所）を適宜設ける、つまり水と緑を増やすことが必要である。
- ・さらなるごみの減量化のためには、３Ｒ（発生抑制・再使用・再資源化）よりも原点に戻り、市民に発生抑制を訴えかけることが大切だ。最終処分場のことなど、行政が困っていることを表面化した方が市民の問題意識が高まる。
- ・見沼田圃をいかに保全するかが課題で、農地を手放したい農家は多く、後継者も不足もしている。トイレや駐車場もなく、何とか整備してほしい。
- ・見沼田圃に人が来てくれるのはうれしいが、トイレがない。下水道を作れないので、実験的に循環系で金肥にするのもおもしろいのではないかな。
- ・見沼代用水を訪れる人のために、憩いの場など東京からも訪れたいような施設やトイレがあると良い。
- ・見沼田圃など多くの問題は、当事者だけでは解決が難しく、どう連携していくかが重要である。
- ・市内のデザインの質をもう少ししっかりすべきである。景観に関してしっかりと誘導し、デザインとしてワンランク上の質を目指してもいいのではないかな。

#### 議題（５）産業・経済の分野におけるこれまでの取組と課題等について

次について、資料３－３に基づき事務局から説明した後、意見交換を行いました。

○基本構想における記述

○現行基本計画に基づく主な取組

○産業・経済の分野の主な課題

○施策展開（案）

#### 【主な意見】

- ・市内で食べていける仕組み、人材が市内に残るような仕組みが必要である。
- ・地域とともに若い人を育て、円滑に就労につなげていく支援が求められている。
- ・大学生への就労支援をしても大企業への就職を目指す学生が多く、一方で市内に

は中小企業が多いため、ミスマッチが生じてしまう。

- ・経営者として多様な働き方を取り入れようとする制度や費用の問題が生じる。
- ・今までのような他力本願な企業誘致でなく、クリエイティブ産業など他市とは違う新しい産業の創出を期待したい。
- ・住宅を集約するだけでは都市の経営はできないので、マンションだけでなく、一定規模以上の建物は複合施設にするなどの誘導が必要ではないか。
- ・イベントのときは人が訪れるが、あまりお金を使ってもらえない。民間の力をうまく誘導する仕組みが必要である。
- ・情報化時代にあっては、安全安心や防災などに関する情報を、いかに市民に提供していくかが大事で、その仕組みづくりが市としても大切だ。
- ・単に情報を発信するだけでなく、まちをプロデュースすることが大事で、さいたまスタイルなど、有効な情報をいかに作り発信していくかが大切である。

(議論の進め方など)

- ・分野別の議論も必要だが、総合的に議論して、各分野が連携して取り組むことについて、地域と行政で役割分担していくことが大切である。
- ・総合的に物事を考えることは大切で、場合によっては他部会の分野とも絡めながら、関連することも一緒に議論していきたい。

## 議題（６）その他

事務局から、部会の第２回開催日程について連絡しました。

○５月２１日（火）午後２時から